

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公開番号】特開2012-229177(P2012-229177A)

【公開日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-049

【出願番号】特願2011-97952(P2011-97952)

【国際特許分類】

C 0 7 D 323/00 (2006.01)

C 0 8 G 65/40 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 323/00

C 0 8 G 65/40

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月31日(2014.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

(式 (I) 中 m は 2 ～ 40 の整数を表す。)

2. 混合物 (ア) 中、(b) 1. 0 モルに対し (a) を 1. 0 1 ～ 1. 0 5 モルの範囲で用いることを特徴とする、上記 1 に記載の環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物の製造方法、

3. 環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトンが少なくとも連続する異なる 3 つ以上の整数 m からなる混合物であることを特徴とする、上記 1 または 2 に記載の環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物の製造方法、

4. 環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物中に、一般式 (I) で表される環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトンを 60 重量%以上含むことを特徴とする、上記 1 ～ 3 いずれかに記載の環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物の製造方法、

5. 混合物 (ア) 中のベンゼン環成分 1 モルに対して有機極性溶媒を 1. 2 ～ 10 リットルの範囲で用いることを特徴とする、上記 1 ～ 4 いずれかに記載の環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物の製造方法、を提供するものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも

(a) ジハロゲン化芳香族ケトン化合物、

(b) ジヒドロキシ芳香族化合物、

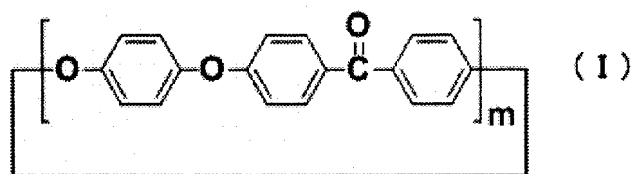
(c) 塩基、および

(d) 有機極性溶媒、

を含む混合物 (ア) を反応させ、一般式 (I) で表され、異なる整数 m からなる環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトンを有し、融点が 270 °C 以下の環式ポリフェニレンエ

ーテルエーテルケトン組成物を製造する方法であって、混合物（ア）中、（b）1.0モルに対し（a）を1.00～1.10モルの範囲で用いることを特徴とする環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物の製造方法。

【化1】



（式（I）中mは2～40の整数を表す。）

【請求項2】

混合物（ア）中、（b）1.0モルに対し（a）を1.01～1.05モルの範囲で用いることを特徴とする、請求項1に記載の環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物の製造方法。

【請求項3】

環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトンが少なくとも連続する異なる3つ以上の整数mからなる混合物であることを特徴とする、請求項1または2に記載の環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物の製造方法。

【請求項4】

環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物中に、一般式（I）で表される環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトンを60重量%以上含むことを特徴とする、請求項1～3いずれかに記載の環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物の製造方法。

【請求項5】

混合物（ア）中のベンゼン環成分1モルに対して有機極性溶媒を1.2～10リットルの範囲で用いることを特徴とする、請求項1～4 いずれかに記載の環式ポリフェニレンエーテルエーテルケトン組成物の製造方法。